

■科 目	高 齢 者 歯 科 学	■講師名	下 山 和 弘
Ⅱ部2学年	前期	10コマ (1コマ90分授業)	総時間 20 時間 講義 1 単位
■学修概要	<p>超高齢社会を迎え、高齢者の QOL の維持・向上のための歯科からの対応は喫緊の課題である。歯科医療・保健・福祉に関する包括的な学習を行い、高齢者の心身に関する総合的な理解に基づく口腔健康管理の知識・技術を習得する。</p>		
■授業目的、到達目標	<p>わが国では高齢化が進んでおり、高齢者の健康管理が課題となっている。高齢者歯科学の分野では口腔機能を維持・向上させることが大きなテーマとなっている。高齢者の口腔健康管理に必要な知識を修得し、チーム医療の中で高齢者の QOL の維持・向上に貢献できる能力を身につける。高齢者をとりまく社会と環境、加齢による身体的・精神的変化と疾患、高齢者の状態の把握、摂食嚥下リハビリテーション、口腔健康管理について学習する。</p>		
■授業方法	講義		
■教科書（書籍名・出版社）	歯科衛生学シリーズ／高齢者歯科学 医歯薬出版		
■成績評価・講義上の注意	<p>学習態度および定期試験の点数で評価を行う。</p> <p>今まで学んできた各教科の知識を前提に講義が行われる。</p>		
■実務経験	東京医科歯科大学大学院・歯学部および歯学部附属病院にておよそ 40 年間、教育・臨床を行った。		
■授業計画（講義の流れ）			
1	高齢者をとりまく社会と環境		
2	加齢に伴う身体的機能の変化		
3	高齢者の精神・心理的变化		
4	高齢者の状態の把握		
5	高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患（1）		
6	高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患（2）		
7	高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患（3）		
8	摂食嚥下リハビリテーション（1）		
9	摂食嚥下リハビリテーション（2）、口腔健康管理		
10	定期試験、解答解説		